

だい じ いわてけんちきゅうおんだんかたいさくじっこうけいかく
「第2次岩手県地球温暖化対策実行計画」

みなお そあん がいよう ばん
(見直し素案) の概要 (やさしい版)



けいかく
1 どんな計画なの？

いわてけん
岩手県では、「地球温暖化」の原因になる温室効果ガスを
へらしたり、異常な気候によっておこるかもしれない被害を
すく 少なくしたりするために、2030年度までの目標とみんなで
と く 取り組むことをまとめた計画を、2021年3月につくりまし
た。

けいかく ねん こんかい みなお
この計画をつくってから5年がたつことから、今回、見直
しをおこな を行いました。

ちきゅうおんだんか なに
2 地球温暖化って何？

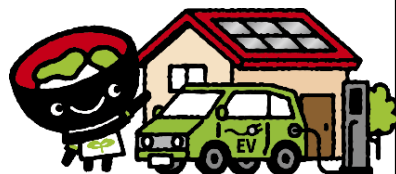
ちきゅう たいき おんしつこうか ふく
地球をつつむ大気には、「温室効果ガス」が含まれていま
す。このガスは、ふえすぎると地球が
あつ どんどん暑くなってしまう。これ
が「地球温暖化」です。

ちきゅう あつ さいこうきおん
このまま地球が暑くなると、最高気温が
いじょう ひ おお ねっちゅうしょう
35℃以上になる日が多くなって、熱中症
な ひと こめ やさい
で亡くなる人がふえたり、お米や野菜がと
れなくなったり、海の魚がとれなくなる
えいきょう しんぱい
などの影響がでることが心配されています。

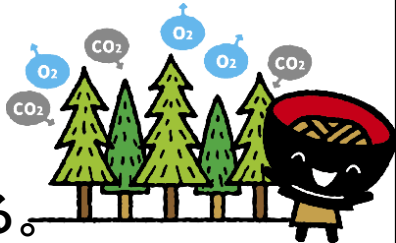


3 どうして計画の見直しをするの？

県の計画では、2030年度までに、私たちの生活やおしごとで出る温室効果ガスの量を2013年度とくらべて57%へらすことを目標に、次のことに取り組んできました。



- ・ 夏すずしく冬あたたかい家をふやす。
- ・ 電気製品を、少ない電気で動くものに変える。
- ・ 電気自動車などのガソリンを使わない自動車にかえる。
- ・ バスや電車、自転車を使うようにする。
- ・ 自然の力を使って電気をつくる。
- ・ 温室効果ガスを吸収する森林をまもる。



このような取組をしたことで、2022年度に出た温室効果ガスの量は、2013年度よりも33.8%へりました。

今回は、これから2030年度までに、温室効果ガスを57%へらすために、今の計画のままでよいか、新しく取り組むことはないかななどを考えて見直しをしました。

4 計画を見直して、どんなことをするの？

(1) 目標

2030年度までに、温室効果ガスを出す量を2013年度にくらべて57%へらす。



4 計画を見直して、どんなことをするの？

(2) みんなで取り組んでいくこと。

① 今まで取り組んできたことを、がんばって続けていきます。

② 新しく次のようなことに取り組んでいきます。

・ 今より暑くなっても育てることができる農作物を育てます。

・ 森林にくわえて、温室効果ガスを吸収する海の環境を守っていきます。



今より暑くなっても育つ「もも」

地球温暖化を防ぐためには、ひとりひとりが行動にうつすことが必要です。みんなで協力して取組を進めていきましょう！

意見や感想の提出について

提出方法

● 郵送(手紙やハガキ)の場合

あて先に「〒020-8570 岩手県 環境生活部 環境生活企画室」と書いて送ってください。住所は書かなくても大丈夫です。

● ファックス(FAX)の場合

「019-629-5334」の番号にファックスを送ってください。

● 電子メールの場合

「AC0001@pref.iwate.jp」までメールを送ってください。

意見や感想の書き方

- ・ 意見や感想の書き方は自由です(決まりはありません)。
- ・ ファックスや電子メールを使って意見や感想を提出する場合は、県のホームページにある回答用紙【やさしい版】を使うと便利です。

https://www.pref.iwate.jp/public_comment/1085836